

## 2018年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年5月10日

上場会社名 株式会社ネットマーケティング 上場取引所 東  
 コード番号 6175 URL <http://www.net-marketing.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 邦久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部管掌 (氏名) 長野 貴浩 (TEL) 03-6894-0139  
 四半期報告書提出予定日 2018年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2018年6月期第3四半期の連結業績(2017年7月1日~2018年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期第3四半期	7,714	10.3	474	64.6	485	77.5	333	82.3
2017年6月期第3四半期	6,991	—	288	—	273	—	183	—

(注) 包括利益 2018年6月期第3四半期 329百万円(73.2%) 2017年6月期第3四半期 190百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年6月期第3四半期	23.46	22.31
2017年6月期第3四半期	14.11	14.10

(注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を2017年6月期より行っているため、2017年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2018年3月14日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年6月期第3四半期	4,019	1,994	49.6
2017年6月期	3,908	1,613	41.3

(参考) 自己資本 2018年6月期第3四半期 1,994百万円 2017年6月期 1,613百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年6月期	—	0.00	—	—	—
2018年6月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年3月14日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2018年6月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮しております。

## 3. 2018年6月期の連結業績予想(2017年7月1日~2018年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,296	14.5	540	22.4	538	27.2	371	25.0	26.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年3月14日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2018年6月期における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2018年6月期3Q	14,552,000株	2017年6月期	13,988,000株
2018年6月期3Q	146株	2017年6月期	一株
2018年6月期3Q	14,235,113株	2017年6月期3Q	12,986,043株

当社は、2018年3月14日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2018年5月10日(木)に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

(日付表示の変更について)

2018年6月期第2四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2017年7月1日から2018年3月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善に伴い個人消費に持ち直しの動きが見られ、総じて緩やかな景気回復基調が続いております。

当社グループが事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2016年の1年間で推計1億84万人(前年比38万人増)、人口普及率は83.5%(前年比0.5%増)と高い水準を維持しております(注)。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルメディアの普及率も51.0%と前年と比べ2.1%上昇しております(注)。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスは更なる市場拡大が期待されております。

こうした環境のもと、当社グループは、中核事業である広告事業の拡販、「Omiai」を主軸としたメディア事業の収益基盤の確立を中心に、事業拡大に向けた取り組みを進めております。そのため、事業拡大による人員増加への対応や働きやすい職場環境の提供等を目的に、2018年3月12日に本店オフィスを港区南青山に移転しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は77億14百万円(前年同四半期比10.3%増)、営業利益は4億74百万円(前年同四半期比64.6%増)、経常利益は4億85百万円(前年同四半期比77.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億33百万円(前年同四半期比82.3%増)となりました。

(注) 出所：総務省「平成28年通信利用動向調査」

報告セグメントの業績は以下のとおりであります。

## &lt;広告事業&gt;

広告事業は、主にアフィリエイト広告に特化したエージェントとして、広告プロモーションの戦略立案から運用支援までを一貫して提供するアフィリエイトエージェント事業を主力のサービスとして提供しております。

当事業においては、エステや人材関連等を扱う「サービス」カテゴリが好調に推移した結果、当事業の売上高は54億14百万円(前年同四半期比2.8%増)、セグメント利益は4億37百万円(前年同四半期比21.4%増)となりました。

## &lt;メディア事業&gt;

メディア事業は、Facebook連動型マッチングサービス事業として恋愛マッチングサービスの「Omiai」を提供しております。

「Omiai」につきましては、持続的な収益の拡大を実現するため、サービスの拡充や効率的な会員獲得手法の確立に取り組んでおり、2018年3月にはサービス開始以降の累計会員数が294万人を突破いたしました。

また、2018年3月12日付でIRリリースしましたとおり、「Omiai」の運営で培ってきた”安心・安全”に利用できるノウハウを全面的に投入し、日本のデーティングアプリ市場という新たな領域を開拓する新サービスとして「QooN(クーン)」のリリースを予定しております。

なお、ソーシャルジョブマッチングサービス「Switch.」につきましては、2017年9月1日付で会社分割により株式会社オープンキャリアへ承継しております。

以上の結果、当事業の売上高は23億円(前年同四半期比33.5%増)、セグメント利益は4億13百万円(前年同四半期比101.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1億11百万円増加し、40億19百万円となりました。これは主に売掛金が1億81百万円減少したものの、現金及び預金が2億4百万円増加及び本店移転等に伴い有形固定資産が1億27百万円増加したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比べ2億69百万円減少し、20億24百万円となりました。これは主に買掛金の減少3億15百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億80百万円増加し、19億94百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億33百万円を計上したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.3%から49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月期の連結業績予想について、2017年8月10日付で公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている当社の業績予想は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,243,671	2,447,807
売掛金	1,233,000	1,051,829
その他	40,405	51,190
貸倒引当金	△12,755	△8
流動資産合計	3,504,323	3,550,819
固定資産		
有形固定資産	16,550	143,665
無形固定資産	120,829	54,468
投資その他の資産	266,390	270,341
固定資産合計	403,770	468,476
資産合計	3,908,094	4,019,295
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,431,956	1,116,705
1年内返済予定の長期借入金	87,509	79,992
未払法人税等	113,910	97,315
その他	420,788	550,950
流動負債合計	2,054,164	1,844,963
固定負債		
長期借入金	240,016	180,022
固定負債合計	240,016	180,022
負債合計	2,294,180	2,024,985
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	366,345	391,725
資本剰余金	356,345	381,725
利益剰余金	875,981	1,209,981
自己株式	—	△101
株主資本合計	1,598,672	1,983,331
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,241	10,978
その他の包括利益累計額合計	15,241	10,978
純資産合計	1,613,914	1,994,310
負債純資産合計	3,908,094	4,019,295

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)
売上高	6,991,710	7,714,346
売上原価	5,203,660	5,354,777
売上総利益	1,788,050	2,359,568
販売費及び一般管理費	1,499,808	1,885,007
営業利益	288,242	474,561
営業外収益		
受取利息	20	23
貸倒引当金戻入額	1,480	12,749
その他	122	370
営業外収益合計	1,623	13,142
営業外費用		
支払利息	1,444	1,013
為替差損	1,260	750
株式公開費用	13,053	—
その他	505	183
営業外費用合計	16,264	1,948
経常利益	273,601	485,755
特別利益		
事業分離における移転利益	—	8,807
特別利益合計	—	8,807
特別損失		
固定資産除却損	—	208
本社移転費用	—	1,822
特別損失合計	—	2,031
税金等調整前四半期純利益	273,601	492,531
法人税、住民税及び事業税	100,595	161,946
法人税等調整額	△10,193	△3,414
法人税等合計	90,401	158,532
四半期純利益	183,199	333,999
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,199	333,999

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	183,199	333,999
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,162	△4,262
その他の包括利益合計	7,162	△4,262
四半期包括利益	190,362	329,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,362	329,737
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,268,412	1,723,297	6,991,710	—	6,991,710
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,928	2,928	△2,928	—
計	5,268,412	1,726,225	6,994,638	△2,928	6,991,710
セグメント利益	360,190	205,651	565,842	△277,599	288,242

(注) 1. セグメント利益の調整額△277,599千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,414,161	2,300,184	7,714,346	—	7,714,346
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	107	107	△107	—
計	5,414,161	2,300,291	7,714,453	△107	7,714,346
セグメント利益	437,146	413,546	850,693	△376,131	474,561

(注) 1. セグメント利益の調整額△376,131千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。